

【3.組成及び成分情報】

単一・混合物の区別	単一製品
化学名	炭酸マグネシウム (Magnesite)
化学式	MgCO ₃
C A S 番号	546-93-0
成分	MgO 40 ~ 50 mass%
	SiO ₂ 6.5 以下 mass%
	Al ₂ O ₃ 2.0 以下 mass%
	Fe ₂ O ₃ 2.0 以下 mass%
	CaO 2.0 以下 mass%
	Igloss 45 ~ 55 mass%
官報公示整理番号 化審法 安衛法	対象外 (天産品)
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし
濃度又は濃度範囲	情報なし

【4.応急措置】

吸引した場合	大量の粉塵が発生して、気管支に刺激がある場合には、速やかにその場所から離れてきれいな空気を吸い込むと、咳払い・痰・くしゃみ・呼吸困難は解消する。大量の粉塵を吸引した場合や、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	本品が触れることにより皮膚が乾燥した場合には、通常に加湿クリームを使用する。また傷に触れた場合には、中性洗剤か水で洗浄する。刺激はほとんどないがもし刺激等があれば、医師の診断を受ける。
目に入った場合	直接目に入ると刺激痛を伴うので速やかに水で洗い流す。洗浄後も痛みや目の赤みがとれない場合には、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	微量の場合は特に措置の必要はないが、多量の場合は医師の診断を受ける。
予想される急性症状及び遅発症症状 最も重要な兆候及び症状	情報なし 情報なし

【5.火災時の措置】

消火剤	この製品自体は、燃焼しないので 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の危険有害性	不燃性。火災時に刺激性あるいは有毒なフェームやガスを放出する。
特有の消火方法	特になし

【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	粉塵濃度が暴露限界を超える場合には、防塵マスク（国家検定合格品）を着用する。
環境に対する注意事項	粉塵が飛散しないように注意する。
回収、中和	作業場に漏洩した場合には、ショベルで回収あるいは掃除機で吸引する。製品がきれい乾燥していれば適当な容器に入れて廃棄する。床の水洗は、床が非常に滑りやすくなるので好ましくない。漏洩した粉末がすでに濡れている場合には、粉がなくなるまで水で完全に洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 床面に残ると粉塵が発生したり、すべる危険性があるので、こまめに回収する。

【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気	必要に応じて防塵マスク、防塵眼鏡を着用する。 必要ならば粉塵濃度を推奨暴露限界値以下に保つために、局所排気設備を設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。
	安全取扱い注意事項	酸と反応して炭酸ガスを発生する。又、濡れると凝固することがあるので、濡らさない様にする。
保管	技術的対策 混触危険物質 保管条件 容器包装材料	粉塵の発生を防止し、倉庫内でパレット上にて保管する。 酸から離しておく。 粉が付着していると滑りやすいので荷崩れに注意する。 特になし

【8.暴露防止及び保護措置】

管理濃度		設定されていない。
許容濃度(暴露限界値、 生物化学的暴露指標)		
日本産業衛生学会 (2016年度)	第3種粉じん 吸入性粉じん 2mg/m ³ 総粉じん 8mg/m ³	
設備対策		粉塵が作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。
保護具	呼吸器の保護具	推奨暴露限界値を超える粉塵濃度の場合、承認された防塵マスクを着用する。
	手の保護具	必要に応じて適切な保護手袋を使用する。
	眼の保護具	必要に応じて適切な安全メガネを使用する。
	皮膚及び身体の保護具	必要に応じて適切な保護衣を使用する。
衛生対策		取り扱い後は手を洗うこと。

【9.物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	灰白色粒状
臭い	無臭
pH	9.5
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	不燃性
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体, 気体)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	2.95
溶解度	0.01g/100g (水 20℃)
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	不燃性
分解温度	350℃
粘度 (粘性率)	データなし

【10.安定性及び反応性】

反応性・化学的安定性	常温・常圧下で安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	粉塵の拡散。
混触危険物質	酸
危険有害な分解生成物	特になし

【 11.有害性情報 】

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷又眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	情報なし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	肺が冒されることがある。
吸引性呼吸器有害性	情報なし

【 12.環境影響情報 】

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有毒性	情報なし

【 13.廃棄上の注意 】

残余廃棄物 汚染容器及び包装	一般産業廃棄物として地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。
-------------------	---

【 14.輸送上の注意 】

国連番号	該当なし
国連分類	該当なし
海洋汚染物質	非該当
国際規制 海上・航空規制情報	非危険物
国内規制 陸上規制情報	非危険物
海上・航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	水濡れ・転倒・落下・損傷がないように積載し、荷崩れ防止を行う。

【 15.適用法令 】

労働安全衛生法	粉塵障害防止規則（第二条関係別表第一に掲げる作業）
---------	---------------------------

【 16.その他の情報 】

P R T R 法	第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しません。 （平成20年11月21日に公布された政令に対応）
アスベスト	厚生労働省発布の平成18年8月28日基安化発第0828001号 『天然鉱物中の石綿含有率の分析法について』で示される方法で 石綿含有率0.1重量%を超えていません。

本データシートは、本製品の工業的な一般的取扱いについて最新の情報を集めたものでありますが、完璧なものではありません。又、本データシートは、保証書ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正されることがあります。本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、ご需要家各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切なる措置をお取り下さるようお願い致します。